



自然と人との絆のたみい



J A
広報

そらちみなみ

12
月号

2012 Vol. 47

第27回 JA 北海道大会



協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会



持続可能な北海道農業の実現

「次代を担う協同」の実践



挨拶を述べるJA北海道中央会の飛田会長

主な内容

- 営農いろは塾
- 青年の主張
- 青年部新米配布事業
- 営農指導課のページ
- 直売所TV放映
- 女性部レクレーション大会
- 生産部会紹介
- 各地区の作業風景…etc

～第27回JA北海道大会～

11月21日、「第27回JA北海道大会」が札幌白石区コンベンションセンターにて開催され、全道から約2,000人の関係者が参加しました。

J A北海道大会は3年に1度開催されており、今大会では、「協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会」をメインテーマに掲げ、2つの戦略テーマとして、「持続可能な北海道農業の実現」と「『次代を担う協同』の実践」の2議案が決議されました。

3日間の集中講座

営農いろは塾開催

11月13日～15日の3日間にわたり、JA本所にて第6回営農いろは塾（農業経営編）が開催されました。

初日の13日には、講師にむらずみ経営グループの小田島氏を招き、「農業所得と税務申告」についての講義が行われ、税金の種類や仕組み、青色申告制度や簿記記帳についてなどの説明がなされました。講義の後半には簿記の演習問題を行い、確定申告書を実際に作成する作業も行されました。

14日は「農業経営の考え方」について、北海道大学院の教授である柳村氏より講義をしていただきました。「農業経営とは何か」、「経営組織と経営成長」、「農業経営者の役割と経営管理」という難しいテーマでしたが、非常に分かりやすい解説で、今後の経営に参考となる内容でした。

15日の最終日には、JA職員が講師となつて「営農計画及び資金制度利用のいろは」についての講習が実施されました。まず営農部営



参加者の様子



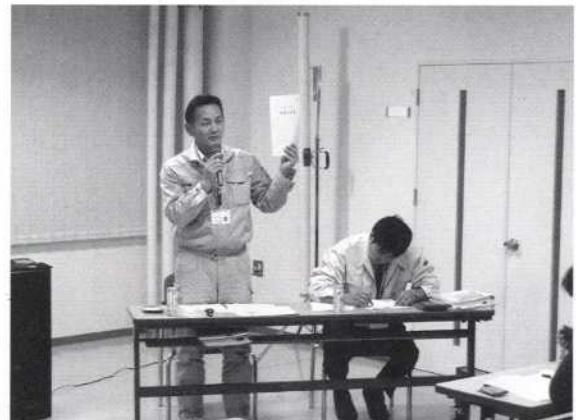
むらずみ経営グループ 小田島氏



北海道大学院教授 柳村氏

農指導課の岩崎課長より、営農計画策定の必要性や実際に作成する手順などの説明が行われた後、金融部経営相談課の蝦名課長補佐より、新規就農者向け資金や後継者向け資金についての紹介と資金借り入れについての基本事項の説明が行われました。

今回のいろは塾は、農業経営に特化した内容となり、普段なかなか学ぶ機会のないものばかりということもあって、参加された皆さんは真剣な表情で講義に耳を傾ける様子が伺えました。



営農部営農指導課 岩崎課長



金融部経営相談課 蝦名課長補佐

「堂々たる発表」

青年の主張

11月13日、滝川市にて空知管内JA青年の主張発表大会が開催されました。

この大会は、今後の営農活動や青年部活動の活性化に向けてのエネルギーとするため、将来に向けての希望や意見、提言等を主張していくこう、という趣旨で開催されており、発表者は、自らの営農や青年部活動等で感じられた想いや希望を主張します。

空知大会では、6つの青年部より各1名の発表者が登壇し、JAそうち南青年部からは由仁支部の中村圭徹さんが登壇されました。中村さんは、農業を始めたきっかけや、青年部へ加入したことでの成長できしたこと、将来への希望をテーマに、自らの想いを主張し、優秀賞を受賞されました。

最優秀賞は、JA北いぶき青年部が受賞し、12月に開催される北海道大会の空知地区代表となります。

堂々とした口調で発表する中村さん



見事優秀賞を受賞

た。JA北いぶき青年部が受賞し、12月に開催される北海道大会の空知地区代表となります。

この事業は、由仁町米麦対策協議会のご協力のもと、毎年PR事業として実施しております。昨年度までは、由仁町内の小学生を対象に行つておりましたが、今年度より由仁町のご協力もあって、小学校・中学校の生徒、保育園・幼稚園の園児、教職員らへと配布の範囲を拡大しました。

当時は猛吹雪となり、視界の悪い中での配布となりましたが、各学校用意した新米650袋すべてを無事に届けることが出来ました。

「地産地消を推進」

青年部新米配布事業

由仁保育園にて



準備の様子



堂々とした口調で発表する中村さん



見事優秀賞を受賞

た。JA北いぶき青年部が受賞し、12月に開催される北海道大会の空知地区代表となります。

この事業は、由仁町米麦対策協議会のご協力のもと、毎年PR事業として実施しております。昨年度までは、由仁町内の小学生を対象に行つておりましたが、今年度より由仁町のご協力もあって、小学校・中学校の生徒、保育園・幼稚園の園児、教職員らへと配布の範囲を拡大しました。

当時は猛吹雪となり、視界の悪い中での配布となりましたが、各学校用意した新米650袋すべてを無事に届けることが出来ました。

営農指導課のページ

「土層改良機材の

実演会に参加しました」

去る11月14日、北見市内で開催の土層改良機材（カッティングソイラとカッティングドレイン）の実演会と、それらを活用した作物生産力向上試験の打合せに参加しました。

主催は、農業研究機構農村工学研究所（つくば市）で、同研究所が株式会社北海コーキ（北見市）及び北海道農業公社と共に開発中の、トラクタで牽引可能な土層改良機材が紹介されました。写真は、ブルドーザで牽引する



タイプですが、今回開発したモデルは（特許申請前につき、写真は掲載できません）、80馬力以上のトラクタ（四輪駆動）で施工可能なコンパクトタイプで、価格も出来だけ安く設定したいとのことがあり、幅広い場面での活用が期待されます。

また、農村工学研究所では、今回開発の機材を活用した、全国展開の試験を計画中です。

それによると、北海道では、中央農試とそちら南農協が子実コーンの茎葉、秋田県農試が粉殻、沖縄県農業技術センターがサトウキビ残渣を活用した土層改良試験を分担し、それぞれの場面で作物生産力向上を検証することになります。

第一は、初めて当農協組合員（由仁地区中村協進農場）が所有するコンバインで、収穫作業の殆どを行つたことです（写真）。

は、タマネギ・ネギの重要な害虫ですが、ここ数年多発が継続しています。



「子実コーンの

収穫が終わりました」

今年は、栗山地区の8戸で合計10ヘクタールに作付けられていましたが、10月下旬の多雨傾向にもめげず、一部に課題を残しつつも収穫を終了しました。

過去3年間、MSK農業機械のお世話になつていきましたが、今後はコンスピード（子実コーン専用ヘッド）を確保することで済むことになり、見通しが明るくなりました。

第二は、栗山地区の高野さんの子実収量が1トンを超えたことでございました。中央農試の試験では、1トンを超える成績がありました。一般栽培では新記録です。

勿論、子実収量の確保が主目的ではありませんが、沢山穫れることに越したことはないので大歓迎で、来年にも弾みがつくと思いま

「スリップス対策の強化を」

スリップス（ネギアザミウマ）は、タマネギ・ネギの重要な害虫であります。



特に、ネギ畠ではタマネギの倒伏期以降の発生増加が顕著で、防除が間に合わない事例があります。

薬剤の散布適期の厳守は勿論、イド系剤の使用を中止し、薬剤選択とローテーションの適正化が必要です。タマネギ・ネギの共通課題として、地域をあげた取り組みを期待します。

♪ 全国 CPR ♪

はなまるマーケットで放映

11月22日、全国ネットの朝の人気番組「はなまるマーケット」「ひる」、JAそらち南直売所が紹介されました。

当JAの直売所のように、多種類のじゃがいもが店頭に並ぶ店舗は非常に珍しいということで取材に訪れ、北海道産のじゃがいもを特集するコーナーにて取り上げられました。

元フジテレビアナウンサーの富永美樹さんがリポーターとして来所され、直売所に並べられているじゃがいもの紹介や、お客様にじゃがいもについての話しを聞くなどする内容が放映されました。また、スタジオにはJAそらち南産のじゃがいもが並べられ、品種別の特性なども紹介されました。

放送時間はわずかではあったものの、全国に向けてPRする事ができましたこと思います。



撮影中の様子



種類の多さに驚いておりました

11月9日、平成24年度南空知花き生産組合消費・流通懇談会が由仁支所大会議室で開催されました。

消流懇談会は毎年開催されており、今年も当JAの花き生産者をはじめ、JAながぬま・JAなんぼろの花き生産者、全国各地の花き市場・卸売会社の関係者など51名が参加されました。

大会議室にて各市場より簡単な挨拶を頂いた後、4つの分科会に分かれ、市場ごとに得意な品種や今後どのような花が欲しいかなどの説明があり、生産者から各市場には「当産地の需要はいつ頃か?」などの入荷状態の確認や花の需要の推移の質問がされるなど、今後の販売戦略に繋がる有意義な情報交換の場となりました。



挨拶を行う田中組合長



分科会の様子

♪ 活発な意見交換が行われる♪

南空知花き生産組合消流懇談会

女性部レクリエーション大会



まめまめリレー！ 急げば急ぐほど掴めない！？

11月21日、本所大會議室において女性部のミニーレクリエーション大会が開催されました。

3チームへと分かれ、玉入れやイスとりゲーム、○×頭の体操など優しい運動や頭を使つたゲームなど、全10種の競技でチーム対抗戦が行われました。

時には珍プレーも飛び出し、終始笑いの絶えないレクリエーション大会となつて、女性部の皆さんは日頃のストレスを発散できました。

農業機械早期予約展示会



ずらっと並べられた機械

11月16日、今年2回目の廃プラスチック類の集積が由仁営農センターにて実施されました。

当日は、ビニールや農ボリ、肥料袋、苗箱などが持ち込まれ、計量を済ませた後、それぞれ指定の場所へ職員と共に降ろされ、再計量を経て廃棄物の重量が確認されました。

今回の集積では、およそ49tの廃プラスチック類が集まり、今後はリサイクル業者の手に渡つて、固形燃料などの新たな資源に生まれ変わることとなります。

環境に配慮した取り組み

廃プラスチック集積



農ボリを降ろす様子

11月13日・14日、由仁町本三川の日農機（株）三川営業所において農業機械早期予約展示会が開催されました。

この展示会は空知、石狩、胆振、日高地区を対象とした展示会で、当JAの組合員はもとより各地から大勢の人たちが訪れました。

会場ではメーカーの担当者に性能や仕様、価格について問い合わせる姿が見受けられ、特に新製品に高い関心が寄せられていました。

機械以外にも、各種部品・工具も展示即売され、こちらも大勢の方が見入っていました。

生産者部会紹介



そらち南農協種馬鈴しょ協議会

横井理事（古山）、正井理事（昭和）、日置理事（桜山）、鷹理事（西三川）
橋場副会長（緑丘）、田中会長（伏見）、原田監事（本三川）

※北監事（桜山）は都合により欠席

全国一の移出量を誇る当JAの種馬鈴しょは、九州を中心に全国の食用馬鈴しょ生産者へと供給されており、「デジマ」「ニシユタカ」を中心と付けています。会員数91名で管内で300haほどの作付けがあります。

そらち南農協種馬鈴しょ協議会は、会員数91名で管内で300haほどの作付けがあります。

全国一の移出量を誇る当JAの種馬鈴しょは、九州を中心に全国の食用馬鈴しょ生産者へと供給されており、「デジマ」「ニシユタカ」を中心と付けています。会員数91名で管内で300haほどの作付けがあります。

また、若手生産者や後継者を対象とした担い手研修を実施したり、会員全員が視察研修に行けるよう3か年計画を立てたりと、スキルアップにも力を入れてあります。

就農した時から種馬鈴しょの生産を行っている田中勲会長は、「全國から信頼され産地指定を受けている。今後は抵抗性の高い品種を導入し、さらに安全性を高めていきたい」と更なる意気込みを話してくれました。



目慣らし会の様子



担い手研修で後継者育成

種馬鈴しょ協議会では、栽培防除手順に沿った毎週の防除を義務付け、年10回の不良株撤去作業を行うなど安全な馬鈴しょ生産に努めております。

年末の営業時間のお知らせ

年月日		本部事務所 支所事務所 生産資材部 営農センター	金融・共済業務		給油所	Aコープ店舗 直売所
			窓口業務	ATM (現金自動払機)		
平成 24 年 12 月	28日(金)	8:30~12:00	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業 継立店 12:00まで
	29日(土)	休業	休業	9:00~12:00	通常営業	通常営業 継立店休業
	30日(日)	休業	休業	休業	通常営業	通常営業 継立店休業
	31日(月)	休業	休業	休業	7:30~15:00	由仁三川店 15:00まで 直売所 12:00まで 継立店休業

平成25年度営農計画書ダウンロードのご案内

平成25年度営農計画書のE×cēl様式が12月中旬からJAホームページより取り込みができるよう、現在準備を進めてあります。

トップページから「組合員様専用」をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力して画面を表示します。「ダウンロード」ページを選択して取り込んで下さい。

クミカンデータを予め取り込んでおけば、E×cēl様式にマクロが含まれてありますので、「マクロを有効にする」をクリックすることによってクミカンデータが自動的に転記される仕組みになっています。ぜひご活用下さい。

クミカンの年内精算をお願い申し上げます

本年の大雪の影響で、作付けの遅れが心配されておりましたが、夏場の好天により水稻は2年続けての豊作となりました。しかし、畑作については、干ばつといった天候不順の影響を受け、作物によっては収量の減収や品質低下が見受けられます。

クミカンは、単年度収支を基本としてありますので、年内精算を宜しくお願ひいたします。また、営農対策に係るご相談につきましては、お早めにご相談ください。

問合わせ先 金融部経営相談課 (72-1393)
由仁支所金融共済課 (83-2321)

各地区の作業風景など



上野 祐司さん（本三川）
11月9日 ごぼう選別



重田 順栄さん（東三川）
11月20日 長いも収穫

我が家の大愛取（アイドロイ）



あいり
愛莉ちゃん（女の子）
平成24年9月10日生まれ
北学田
お父さん：飛田 貴史さん
お母さん： 奈美枝さん

1番可愛く感じるときは？
ニコッと笑ってくれるとき
どんな子に育って欲しい？
思いやりのある優しい子



くおん
玖緒ちゃん（男の子）
平成24年10月7日生まれ
川端
お父さん：吉田 豪さん
お母さん： 美駒さん

1番可愛く感じるときは？
寝てるとき
どんな子に育って欲しい？
素直で明るい子



ふうき
楓毅ちゃん（男の子）
平成24年9月10日生まれ
北学田
お父さん：川合 裕二さん
お母さん： 唯さん

1番可愛く感じるときは？
可愛い声で泣くとき
どんな子に育って欲しい？
強くて人にやさしくできる子



てんご
天護ちゃん（男の子）
平成24年9月25日生まれ
御園
お父さん：水野 嘉貴さん
お母さん： 梨沙さん

1番可愛く感じるときは？
にたーっと笑ったとき
どんな子に育って欲しい？
天に愛され護られるようになつてほしい



箱粒剤散布ホース フェルテラ

灌注処理の代替に！！

「パットホース」

パットホースの特長

●一人で作業できます！

パットホースの組み立てから、取り付け、散布まで、一人で簡単に作業できます

●短時間で処理できます！

箱粒剤10kg(成苗ポット：約333枚、中苗マット：200枚)を約10分で散布できます。

●各種の動力散布機に取り付けられます！

各種の動力散布機に取り付けられますので、お持ちの動力散布機があれば
パットホースのみご用意していただければ使用できます。

パットホースの使い方

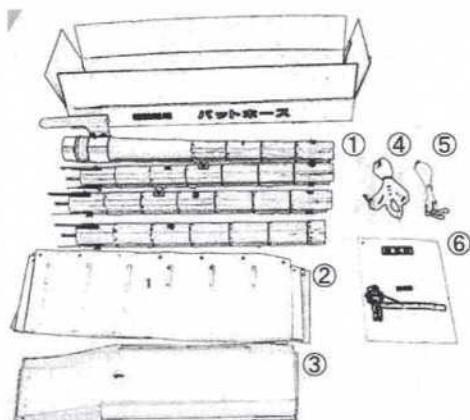
1. パットホースを組み立てます。

育苗箱の配列にあわせて二段階(2.4m、1.8m)に調節できます。

2. 動力散布器にパットホースをつなぎます。

3. 動力散布機に箱粒剤を入れ、散布します。

移植1週間前ころの散布をお勧めします。



キャンペーン実施のお知らせ

ホワコー
ドクター
ドリゼ
フェルテラ
粒 剂

フェルテラ 箱粒剤

耳寄りなお知らせです！

どちらか10kg袋を10袋以上お買い上げの方に

パットホースをプレゼント！！

注：)数量に限りがございますので、お早めに申込ください。

予定数量に達しましたら、キャンペーンを終了させていただきます。
パットホースのプレゼントはお1人様1点限りです。



